



第92回 | 私のスケッチブック

## 「職人広場の店先にて…」

ニュルンベルク (ドイツ)



ニュルンベルク中央駅から地下道を渡って、旧市街の入口に立つケーニヒ門の角に中世の職人広場が再現され、当然ながら木組みの可愛らしい家々が立ち並び、何となく昔にタイムスリップしたような雰囲気を感じます。

この町には、鉄道博物館やおもちゃ博物館など見応えのする施設が沢山あります。何となくドイツ職人の匠の博物館を期待して訪れたのですが、専門店はあるものの土産物屋さんのマーケットって感じでした。

ドイツで初めて鉄道が通った町ですから、この駅をハブにして近郊の町を訪ねることをお勧めします。私も駅前に宿を取ってバンベルク、レーゲンスブルク、ヴェルツブルクなどの世界遺産の街角を描きに行きました。

ニュルンベルクの世界的に有名な焼き菓子に「レープクーヘン」があります。蜂蜜・オレンジの皮・

アニス・シナモン・カルダモン・コリアンダーなどの香辛料を混ぜて焼いたモノで、この広場でも販売していますから是非お試しください。味も香りも食感も独特ですし、観光客にも大人気。当然、「ニュルンベルガーローストブラウトブルスト」なる減茶苦茶美味しいソーセージのレストランも、民族衣装を纏ったウエイレスさん達が出迎えてくれます。その他、フランケンワインの専門店・人形屋さん・革の加工店・ガラス工芸店など手作り職人さん達のお店が沢山集まっていますから、なかなか繁盛しているエリアです。

さて疑問がまだ残っています。ところでこのスケッチの店先は、何屋さんなのでしょう？ 描いた本人が何となく見惚れて描いたのですから判らないのです。番地番号が10ですから調べたところでは…Gold Schmiede。日本で云う「金細工工房」なのですが…？ なかなかのブティックでした。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。  
2018年開催「第69回 全国カレンダー展」に10度目の入選を果たし、その実力を発揮する。  
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索